

和歌山県の魅力

自分時間が充実、理想のワークライフバランス!

1. 充実した暮らし

都会と比べて、和歌山県は物価も家賃も安いので、趣味や遊びに使えるお金が充実します。若い時から、自由に使えるお金で、プライベート時間を充実しませんか?

	和歌山	全国	東京	大阪
①大学卒初任給	223,600円	225,400円	230,600円	227,600円
②25~29歳の平均月給	239,100円	231,110円	265,200円	258,400円
③家賃平均月額	41,094円	55,609円	80,918円	55,614円
④消費者物価地域差指数	99.4	100.0	104.5	99.8

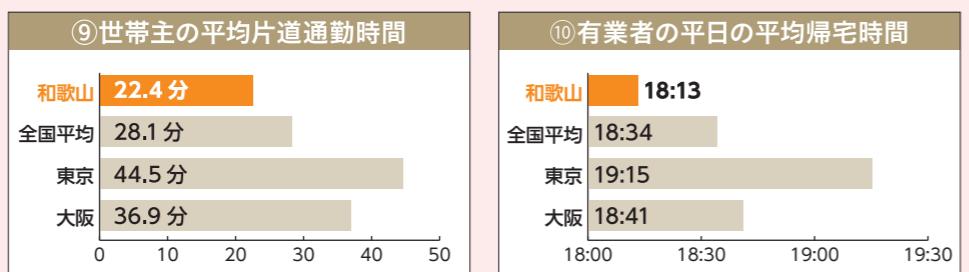
2. マイホームのある暮らし

和歌山県では、比較的安価で大きい家を建てることができます。大きな家でゆったりとした生活を過ごす人生を考えてみませんか?

	和歌山	全国	東京	大阪
⑤1m ² 当たり住宅地平均価格	35,700円	53,372円	389,100円	152,200円
⑥土地付住宅建築費	3,972万円	4,456万円	6,105万円	4,881万円
⑦持ち家の延べ面積	124.4m ²	119.9m ²	93.3m ²	101.8m ²
⑧持ち家比率	73.0%	61.2%	45.0%	54.7%

3. 自分時間のある暮らし

和歌山県では、通勤時間が短く、帰宅時間も早いので、自分や家族との時間を多く持つことができます。早く帰ってワークライフバランスを充実しませんか?



出典 ①②R3賃金構造基本統計調査【企業規模10人以上・所定内給与額】(厚生労働省) ③⑦⑧⑨H30住宅・土地統計調査(総務省統計局) ④R3小売物価統計調査(総務省統計局) ⑤R4都道府県地価調査(国土交通省) ⑥R3フラット35利用者調査(住宅金融支援機構) ⑩R3社会生活基本調査(総務省統計局)



和歌山県職員採用情報



公式SNSでも情報発信中

採用説明会の開催情報、職種紹介などの情報をタイムリーにお届けします。



Facebook



X (旧Twitter)



Instagram

問い合わせ先 和歌山県人事委員会事務局 TEL 073-441-3763 FAX 073-433-4085



県庁職場ガイド

和歌山県庁に訪問し、現役の県職員と直接お話をいただくことができます。県の施策、仕事の魅力などをお伝えし、皆さんの県の仕事などに関する疑問や質問にもお答えします。

申込方法 上記QRコードよりお申し込みください。

対象者 和歌山県職員をめざしている方

受付期間 随時受け付けています。

訪問日時 申込み受付後、日程調整の上、メール等により連絡します。
(土・日・祝日及び12/29~1/3を除く)

問い合わせ先

和歌山県総務部 人事課 人材育成班
TEL 073-441-2138 FAX 073-422-9312
✉ e0102001@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県職員の職種ガイド

和歌山が最高!だと子どもたちが思う未来を!

#保健師

あなたが和歌山県の未来をつくり、
和歌山県はあなたの未来をささえる。

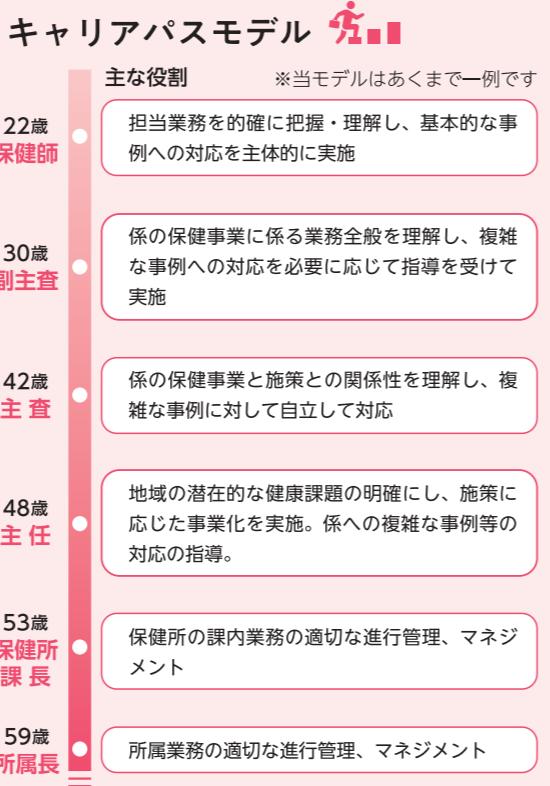


保健師

和歌山県には、県立の保健所が7保健所1支所あり、保健師は公衆衛生のスペシャリストとして、主に健康づくりや母子保健、感染症対策、難病患者支援、精神保健福祉対策、高齢者の介護予防などの幅広い保健予防活動に従事しています。

保健師活動は、少子高齢化や人口減少といった和歌山県の状況と地域の健康課題に応じた保健医療などの事業計画に基づき、訪問指導、健康相談、健康教育などの方法を適切に用いて、広域的・専門的な保健サービスを提供しています。また、新型コロナウイルス感染症のような新興感染症の対策や災害時の対応も効果的・円滑に対応ができるように市町村や関係機関と連携して保健活動を行います。

保健所以外の職場として、難病・子ども保健相談支援センターや精神保健福祉センター、児童相談所といったそれぞれの分野に特化した専門機関や、本庁医務課、健康推進課、長寿社会課等県全体の医療、保健に関する施策の企画立案を行う職場もあります。



「健康づくり」

生活習慣病予防などに関するデータ分析を行い、管内市町村や職域保健と健康課題を共有し、必要な支援を実施。

「母子保健」

小児慢性特定疾病対策において慢性疾患を抱える子供やその家族に対し市町村と協働し、関係機関と個別支援を実施。また、思春期保健に関する健康教育、不妊に関する相談などを実施。

「感染症対策」

早期発見、早期治療(隔離)、徹底した行動歴調査により、感染拡大防止に努めるとともに、患者、家族等に情報提供を行い適切な療養生活などを支援。また、高齢者及び障害者施設や地域住民にも、感染症の正しい知識などに関する健康教育など、普及啓発活動を実施。

「難病患者支援」

家庭訪問により患者、家族の療養上の相談に応じたり、医療・保健・福祉に関した相談会を開催。

「精神保健福祉対策」

病気の症状や障害で生活に複雑な課題を持つ障害者本人や家族に対し、医療や福祉関係者とともに個別支援を行うとともに、地域の包括的な生活支援体制の推進を図る取り組みを関係機関と実施。



橋本保健所

笹井 涼加 保健師

令和2年度採用

①1日の流れ

8:45	9:00	10:00	12:00	13:00	15:30	17:45
出勤	職場で作業	家庭訪問	昼休憩	会議	カンファレンス	退勤
・メールチェック	・電話対応	・療養相談 ・記録作成		・ケース会議	・感染症に関する カンファレンス参加	

これまでの経歴

R2~R3年度 那賀振興局 健康福祉部 保健課(岩出保健所)

R4年度～ 伊都振興局 健康福祉部 保健課(橋本保健所)

LIFE 私のわかやまライフ

最近は、体を動かしアクティブに休日を過ごすことが多く、運動することでリフレッシュにもなっています。また、旅行も趣味の1つで、各地の綺麗な景色を見たり、その地域の美味しいものを食べたりすることも楽しみになっています。

「ワーク」も「ライフ」も両方充実させることで、自分の生活がより楽しく豊かになります。また、仕事と休みのメリハリをつけることで、より集中して業務に取り組むことができるよう感じます。



WORK 担当した仕事の内容・魅力

現在、私は保健所で感染症業務を担当しています。主に感染症に関する相談対応や疫学調査、接触者健康診断、家庭訪問などを行っています。以前は、精神保健の担当をしており、個々の事例を通して、地域を知ることができ、保健師としての視点を養う良い経験となりました。

また、結核患者さんへの関わりでは、服薬方法等を対象者やその家族と一緒に考え、適宜関係機関と連携を取りながら支援を行っています。対象者や家族からの温かい言葉に日々やりがいを感じています。

県の保健師として、県民の皆さんとの直接的な関わりから施策やシステム作りまで幅広い業務に携われるところに魅力を感じています。



メッセージ

感染症、精神、難病、母子等幅広い分野に携わることができ、また県内異動があり各地域の特色に合わせて保健師活動を行うことができます。職場の先輩方に相談しやすい環境で安心して仕事をすることができます。

皆さんと一緒に働くことを楽しみにしています。